

2020 年度活動報告書

特定非営利活動法人 I Love つづき

2020 年度、シェアリーカフェは、コロナ禍の中、コミュニティスペースとして、新たなスタートを切りました。しかし集まることが出来ない中で、コミュニティカフェの新しい役割を模索し続ける 1 年でした。そんな中、当初の計画を変更し、臨機応変に活動してきました。新たな事業として、1 つめは、中川駅前商業地区振興会との連携で、8 月から毎月、国土交通省の規制緩和を受け、遊歩道での「中川まちなかマーケット」を実施しました。2 つめは、11 月から、YouTube と Podcast で「なかなかラジオ」を立ち上げ、地域情報を発信してきました。そして、さらにコロナ禍でコミュニケーションが取れず、活動が停滞する団体に対し、5 団体に ICT 支援を行いました。こういった先の見えない状況の中、私たちのできるまちづくりにチャレンジした 1 年でした。

(1) 特定非営利活動に係る活動

①地域で生まれる商品、作品等を地域ブランドとして開発し販売を促進するための事業(定款 5 条-2)

➤ 横濱良品館ショップ販売事業

福祉施設や地域の手作り品などを扱う、ネットショップ。今年度はシェアリーカフェ内の棚ショップとも連動させました。イベントがほぼなく、シェアリーカフェ内での販売が中心になってしまいました。

実行期間) 2020 年 4 月～2021 年 3 月
NPO からのこの事業への従事者) 5 人
支出額 348,667 円

②地域が活性化していくための情報発信のサポート(定款 5 条-3)

➤ ウェブタウンの地域情報サイトの運営

サイトを拠点に、地域情報化の支援を行ってきました。

実行期間) 2020 年 4 月～2021 年 3 月
NPO からのこの事業への従事者) 3 人
支出額 219,056 円

➤ 「なかなかラジオ」からの情報発信

コロナ禍の緊急事業として、日本財団の助成を受け、今年度はここを拠点にした YouTube と Podcast で「なかなかラジオ」を立ち上げました。11 月から準備、12 月から毎週 3 本から 4 本の動画をテーマごとにアップし、地域情報を発信してきました。

実行期間) 2020 年 10 月～2021 年 3 月
NPO からのこの事業への従事者) 5 人
支出額 2,683,276 円

③地域交流を促進するために必要な事業(定款 5 条-7)

➤ コミュニティスペース「シェアリーカフェ」の運営

地域コミュニティ拠点となる場の提供として、コロナ禍でもお休みはせず、1 時間の時短を行い、シェアリーカフェを運営してきました。カフェを通して、人と人のつながりをつくっていくこと、地域の方達の活動の支援をしてきました。また、カフェ内に「レンタルボックスギャラリーシェアトリエ」を置き、創作活動する人の場の支援もしてきました。

実行期間) 2020 年 4 月～2021 年 3 月
NPO からのこの事業への従事者) 10 人
支出額 6,111,777 円

➤ **自治会町内会、NPO、商店街へのデジタル支援事業**

サイトを拠点に地域情報化の支援を行ってきました。今年度はさらにコロナ禍により、横浜市の緊急支援の制度を受け、地域の団体にコロナ禍での ICT 支援をしてきました。各団体にカスタマイズした支援になりましたが、Zoom 講座や、動画の編集や YouTube へのアップ、WEB 申し込みのしかた、クラウド利活用支援など、幅広く実施し、地域の団体にたいへん喜んでもらえました。自治会町内会への支援も年度内行うべく、テキスト等準備していましたが、緊急事態宣言がでたため、実際の講座は新年度への繰り越しとなりました。

実行期間) 2020 年 4 月～2021 年 3 月
NPO からのこの事業への従事者) 3 人
支出額 1,325,590 円

➤ **子育て地蔵まつり～キャンドルナイトの運営**

センター北と南をつなぐ、「みなきたウォーク」のほぼ中央にあるタウンセンター。「子育て地蔵」の周辺で「子育て地蔵まつり」は、コロナ禍のため、オンラインで行いました。新たにサイトを作り、おみくじ協賛を募り、願い事を立ててもらい、オンラインでおみくじを引いてもらい、引き換えに各店舗にもらう、などの工夫をしました。

➤ **その他、他団体の事業に共催、企業と連携したイベントの実施**

今年度は、地域のリアルの行事のほとんどは中止となりました。そんな中、まちなかのお花の手入れを行っている「中川ルネッサンスプロジェクト」は定期的に参加しました。地域のおまつりがなくなる中、国土交通省の規制緩和事業の一環として、中川駅前商業振興会と連携し、遊歩道での「中川まちなかマーケット」を実施しました。8 月から 12 月までの毎月と、3 月に行い、商店会の活性化、地産地消、こども支援などにならずかながらでもできることを実施し、寄与しました。

また、昨年 6 月まで拠点としていた、ハウスクエア横浜からの委託事業も行いました。私たちのネットワークから講師を派遣し、ワークショップをおおよそ毎月実施しました。

実行期間) 2020 年 4 月～2021 年 3 月
NPO からのこの事業への従事者) 10 人
支出額 578,859 円 + 850,211 円

➤ **地元産の小麦を活かした商品開発事業「ヨコハマ小麦部」**

地元産の小麦を活かし、商品開発をし、地域ブランドを創ります。今年度は「ヨコハマ小麦部」の拡大版として、こどもたちを中心に行う「都筑こども小麦部」を、東急の助成金を受け、立ち上げました。コロナ禍の中、開放的な広い畑で、密にならないよう、家族で畑に参加してもらうなど工夫し、新しくできた小麦を使った商品開発に取り組んでいる最中です。

実行期間) 2020 年 4 月～2021 年 3 月
NPO からのこの事業への従事者) 5 人
支出額 522,179 円

➤ **当団体のリソースを生かした講座の開催**

当団体の、会員それぞれの持つ知識を生かし、それが地域のみなさまのお役にたてるよう、コンシェルジュを実施しました。コロナ禍に於ける緊急支援の助成金申請や ICT ツールの使い方の相談があり、対応しました。

➤ **デジタルクラブつづき**

地域で児童生徒及び地域住民（社会人、高齢者、障害者を含む）がプログラミング等の ICT を楽しく学び合う、コミュニティの育成をはかる事業です。今年度は、コロナ禍のため、リアルな活動は控えめになりましたが、コンテンツの生成を目的に月に 1 回程度、メンター、サポーターが集まって活動を行いました。また、総務省の「地域 ICT クラブの普及推進に係る調査研究の請負事業」のサポートチームとして参加し、全国の地域 ICT クラブの方々との意見交換会のサポートの実施、「地域 ICT クラブ オンラインシンポジウム 2021」にも登壇し、全国の地域 ICT クラブ、総務省との繋がりを図ることが出来ました。

実行期間) 2020 年 4 月～2021 年 3 月
NPO からのこの事業への従事者) 5 人
支出額 211,906 円

➤ **横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業（通所型支援）**

地域の高齢者支援である、横浜市通所型支援事業「スローカフェ都筑」を、都筑区役所、都筑区社協、中川地域ケアプラザなどしっかりと連携し、支援を行って来ました。緊急事態宣言の間は、感染拡大防止のため、中止せざるを得ませんでした。中止期間中も、スローカフェに来てくださっている方に定期的にお手紙を送り、家の中に引きこもらずに、分散して来てもらえるように、カフェチケットも同封しました。それにより、少人数で来店がありました。緊急事態解除後、再開しています。

実行期間) 2020 年 4 月～2021 年 3 月
NPO からのこの事業への従事者) 5 人
支出額 767,548 円